



神奈川支部報

神奈川支部報 第 5 号

発行日：2017年4月1日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部
横浜市青葉区若草台 2-58 込田方

《特別寄稿》

山岳会を創った“ハマの岳人たち”（3） ウォルター・ウェストン（Walter Weston） 1861～1940

砂田定夫

ウェストンは3度来日し、正味14年間ほど日本に滞在した。第1回は主に神戸だったが、横浜に滞在したのは2回目と3回目の、通算7年間だった。2回目のとき、岡野金次郎がウェストンの著書『日本アルプスの登山と探検』を偶然見つけたことから、横浜在住の岡野、小島烏水とウェストンが会い交友が始まったが、1905年ウェストンが帰英する際に山岳会設立の提言をした。その年に小島らは山岳会（のちに日本山岳会）を設立した。日本山岳会の誕生というドラマは、小島らにウェストンという扇動者が加わって演出され、その舞台となったのが横浜だった。ウェストンの最大の功績は、日本アルプスなどの山岳と日本人の文化風俗を世界に紹介し、同時に日本人に日本アルプスを知らしめ、近代登山というものを普及させたことであろう。日本における登山歴をみると、いわゆる名山といわれる山が多く、あらかじめ「日本アルプスの名付け親」であるガウランドはじめ、チェンバレン、ハミルトンといった人たちから山の情報を得ていたし、信仰や測量などの



目的で日本人たちも多く的高峰に登っていた。注目すべきは名山遍歴よりクライミングでの実績であろう。来日前には2度のマッターホルン、ブライトホルン、ヴェッターホルンなどに登っていた。3度の来日の合間に帰国し

たときにはアイガーヨッホの氷壁、アレッチホルン東北稜などに登っている。その登攀意欲は日本においても発揮され、1904（明治37）年の有名な鳳凰山地蔵仏（オベリスク）登攀をはじめ、2回目のとき妙義山鏡岩・筆頭岩、奥穂高南稜、槍ヶ岳東稜などに記録を残しており、大部分が初登攀である。それらの成果の陰には、アルプスの主といわれた上條嘉門次と、妙義の名案内人根本清蔵の献身的な協力があり、この2人こそウェストンを日本びいきにした要因となった。ウェストンの親日ぶりはよく知られたところであるが、在日中に濃尾地震や青森飢饉の救済活動を行ったことは意外に知られていない。また、後年になって満州事変頃から英国内の世論が日本に否定的だったとき、日本の風物を写した幻灯を持って各地を講演して歩き、日本の弁護をしたというエピソードも残っている。「頑固おやじ」というイメージのウェストンではあるが、文を読むとユーモアに富んでいる。その人柄についてウェストン研究の第一人者とされる三井嘉雄氏は、「私はウェストンについて、格別な人だとは思っていない。調べれば調べるほど極普通の人である。少し世話好きで、少し筆まめで、少し目立ちたがりやで、少し行動家で、博愛心に富むという印象である」と書いている（『未刊行著作集』あとがき）。

神奈川支部設立記念行事

「かながわ山岳誌プロジェクト」実行段階へ

前号で記載しましたプロジェクトに関しまして、その後の精力的な検討により、2017年度から実行段階に入ります。具体的な実施要領などを以下に記します。

プロジェクトの名称は、仮称で進めてきましたが、役員会およびプロジェクト内で意見交換した結果、堅苦しくならないように「か

ながわ山岳誌」とすることに決めました。

踏査ポイントは前号で記しましたように2.5万分の1の地図に記載された山名と峠および登山対象となるピークのすべてを登ることを目標としており、当面は282のポイントを抽出しました。これらを踏査するために2段階の検討を経て80コースを立案しました(近く支部ホームページに掲載予定)。これを以下のような方針で実施していくにしています。

- ①踏査は7・8月を除いた10ヶ月とし、原則として月2回実施することにしています。
- ②80コースについて、レベル3・4をHレベル(日に7時間以上の歩行ができる体力とルートファインディングなどの技術を有する方

が対象)とし第4土曜日に実施します。レベル1・2をLレベル(ハイキング程度から日に5時間程度の歩行が可能な方)とし、第2土曜日に実施します。

③Lレベルに関しては、一部のコースを除いて会員が同伴する場合には、非会員の方も参加できます。ただし、非会員の方に何かあった場合の責任は同伴者がすべてを負うことが前提となります。

これらの方針をベースに、当面は新日本山岳誌に記載されている県下の48のポイントを踏査することを目標とし、2017年度の山行計画を立案しました。

L レベル

踏査日	コース番号	コース (○印:踏査ポイントでないが、追加した方が良いと思われるポイント)	所要 時間	集合場所	集合 時間
6月10日	上溝-3	本厚木=鳶尾山前バス停~金毘羅宮跡~天覧台公園~鳶尾山観光展望台~日清戦没者記念碑~鳶尾山山頂(166)~やなみ峠○~八菅山方面~八菅山憩いの森○~八菅神社・展望台○~四等三角点~幣山道標~221m地点~海底(おぞこ)~半原バス停=本厚木駅	4:00	本厚木駅 中央改札口	9:30
9月9日	箱根-1	箱根園バス停~<ロープウェイ>~駒ヶ岳(82)~防ヶ沢分岐~神山(57)~冠ヶ岳(60)~神山(57)~防ヶ沢分岐~湖尻バス停	4:30	箱根湯本駅	9:30
10月7日	大山-3 (*)	寄~櫟山(71)~栗の木洞(74)~鍋割山(175)~小丸(84)~大丸(42)~金冷シ~花立ノ頭(193)~堀山(232)~大倉山の家~雨乞岳(8)~大倉バス停	7:00	新松田駅	8:10
11月11日	箱根-11	湯坂路入口バス停~鷹巣山(143)~浅間山(120)~城山○~湯坂山(276)~箱根湯本駅	3:00	箱根湯本駅	10:00
12月9日	鎌倉-3(*)	JR 鎌倉駅~桔梗山(61)~源氏山(76)~浄智寺~六国見山(281)~鎌倉アルプス~大平山(39)~天台山(159)~滑川源流・渡渉-十二所~朝夷奈切通し(2)~鎌倉巡礼道~衣張山(63)~釈迦堂切通し~大町~鎌倉駅	6:00	鎌倉駅	9:30
1月13日	厚木-4	森の里~高松山(145)~松蔭大~森の里中~七沢温泉入口~広沢温泉入り口~順礼峠(97)~物見峠~猪坂峠(263)~白山(186)~桜山~飯山観音~観音前バス停	4:00	本厚木駅 中央改札口	9:40
2月10日	戸塚-1	横浜霊園前バス停~(横浜自然観察の森)~大丸山○~(金沢市民の森・氷取沢市民の森)~円海山(26)~氷取沢バス停	3:00	金沢八景駅	10:00
3月10日	箱根-13	湯河原駅=城山入口BS~城山(108)~しとどの窟~幕山登山口~幕山(234)~幕山公園=湯河原駅	4:00	湯河原駅	9:20

(*)の大山-3と鎌倉-3は、非会員の方は参加できません。

山行のリーダー・サブリーダーは後日決定し、HP 上で公開します。
 (注) 集合時間は変更することがあります。その際には、参加者に連絡します。

参加を希望される方は、踏査日・コース番号、氏名、会員番号、住所、電話番号、メールアドレスを記載し、踏査日の2週間前までに申し込んでください。

申し込み先：mori@he.kanagawa-it.ac.jp

H レベル

踏査日	コース番号	コース (○印は、踏査ポイントでないが、追加した方が良いと思われるポイント)	レベル	所要時間
6月24日	上溝-1	仏果山登山口～宮ヶ瀬越～高取山(140)～宮ヶ瀬越～仏果山(216)～秋葉山(1)～革籠石山○～半原越(197)～経ヶ岳(66)～華厳山(75)～高取山(139)～上荻野	3	6:30
9月23日	関本-1	乙女峠BS～乙女峠(47)～長尾山(169)～金時山(69)～矢倉沢峠(267)～火打石岳(198)～明神ヶ岳(260)～明星ヶ岳(259)～塔ノ峰(164)～箱根湯本駅	3	9:00
10月28日	山北-3	新松田駅＝丹沢湖BS～日影山(199)～秦野峠(189)～ダルマ沢ノ頭(154)～タケ山(150)～シダゴ山(94)～寄BS＝新松田駅	3	7:00
11月26日	御正体山-3	道の駅道志～ブナ沢乗越～菰釣山(85)～大拇(37)～織戸峠○～椿丸○～山神峠○～山百合橋～浅瀬橋～世附橋	3	6:50

- ・Hレベルへの参加は原則プロジェクトメンバーに限って参加できます。メンバー以外の支部会員で参加を希望される方は問い合わせください。ただし、自らの体力などを考慮し、すべて自己責任を前提としますのでご注意ください。

問い合わせ先：mori@he.kanagawa-it.ac.jp

- ・前号でお知らせしましたように、4月15日(土)に実施します湘南平でのキックオフ山行を皮切りに、5月20日(土)の支部総会での議を経て、6月から本格稼働いたします。特にLレベルには多くの支部会員および同伴者の参加を得て、支部全体の取り組みとなるように願っています。支部会員のご理解とご協力をお願いいたします。

本件に関する問い合わせは、プロジェクトリーダーの森(mori@he.kanagawa-it.ac.jp)まで。

世附権現山山行（準支部山行）

2017年2月11日（土）実施

参加：4名

2月11日の天候は晴れ、前日に降った雪は標高1000mで10cmと少ない。南面はほとんど溶けており積雪は頂上付近に10cm程度であった。藪山といっても、冬枯れで藪なく尾根は踏跡があり迷うことはなかった。アンテナ平には50cm程度の笹の群落があり唯一ここが藪であった。浅瀬入口から頂上までは、道標がしっかり立てられており正規の登山道として赤の実線として不安のない道であった。頂上からアンテナ平、細川橋までは一部急登があり、初心者にはちょっときつい斜面がつづいていた。歩行時間はほぼ予定通り4時間30分。細川橋に無事到着できた。



↑ 権現山山頂にて

今回は縦走部の清水さんに急きょ参加をお願いし4人となった。が、藪山に興味がある人が他にいないかと思い計画をたてたが、結局当初の3人だけで寂しい山行であった。これに懲りず第二段藪山を計画し広く丹沢の山々を皆様に知ってもらいたいと思う。

コースタイム：浅瀬入口（/9:35）－東電発電所上（/10:03）－権現山（11:58/12:20）－アンテナ平（/13:30）－細川橋（13:50/14:55）－山北駅（15:40/）（記：田島剛）

赤倉スキー（準支部山行）

2017年3月11日（土）～12日（日）実施

参加：7名

神奈川支部初めての赤倉スキー山行は天候にも恵まれて素晴らしいゲレンデコンディションのなかで参加者7名全員が皆それぞれに楽しみ、そして無事に終了しました。また、宿泊先の「赤倉ユアーズイン」のホスピタリティーも申し分なく、土曜日の懇親会は小笠原オーナー（神奈川支部会員）も交えて大いに盛り上がりました。



↑ 赤倉ユアーズイン前にて

（特別寄稿）

今回、世附権現山山行に参加した清水さんからの投稿です。清水さんは転勤のため北海道、四国、福井の支部に所属、現在は首都圏会員です。

三角点を訪ね歩いて

清水義浩（首都圏）

私の趣味は、三角点を訪ね歩くことである。三角点とは、三角測量に用いる際に基準

になる点のことで、1等から4等まで全国に10万点以上あり、正確な地図を作成するのに重要な点である。測量のため通常は見晴らしの良い場所に設置され、山の山頂付近に設置される場合が多く、私は三角点を求めて山々に登っている。三角点には点の記という測量の記録があり、その三角点の設置年や三角点までのルートなどが記載されており、登山道の無い山などに登る際は、とても参考になる。三角点の中でもほかの標石よりも大きい1等三角点に対する思いは格別で、道なき藪をかき分け、ようやくたどりつき三角点を発見した喜びはひとしおである。神奈川県内には、百名山の丹沢山を筆頭に8点の1等三角点があり、すべて訪問した。三角点は山だけではなく、公園など街の中にもあり、山に限らずにどこに行っても三角点を探している有様で、もはや三角点依存症である。三角点を求めての全国行脚の旅は、これからも続くばかりである。

われら神奈川支部

支部会員リレー紹介

横浜市磯子区で育ち、港北区在住

山賀純一

早稲田大学山岳部OBです。

今年の1月28～29日、長野県・梅池の早大ヒュッテで山スキーを堪能しました。慣れ親しんだ小屋ですが、仕事の転勤や多忙が重なり、約20年ぶりの訪問です。白馬の山並みと雪に埋もれた小屋は昔と変わりません。いったん離れても、向き合えば山は歓迎してくれました。日本山岳会バックカントリークラブの活動の一環として、山スキー特有の浮遊感に満ちた滑りを味わいました。

日本山岳会に誘ってくれたのは早大山岳部の先輩の成川隆顕さんと野澤誠司さんです。成川さんとは「山の日」を巡り共に活動し、休日制定にこぎつけました。「山の日」担当理事の役割が峠を越えた頃、仕事も少し融通が利くようになり、Youth Clubの野澤さんに声を掛けていただいて今回の山スキーが実現しました。

大学山岳部や、勤務する共同通信で手掛けたエベレストなどの山岳取材の経験が少しはお役に立つかもしれません。共に登りながら、神奈川支部を育てる活動に貢献できることを願っています。

役員会/山行委員会・YOUTH委員会報告

1月山行委員会・YOUTH委員会

日時：1月19日（木）19：00

場所：会場：神奈川工科大学横浜事務所

- ・山行報告
大山忘年山行
- ・山行計画の検討
世附権現山山行、赤倉スキー
- ・ユースの計画について
- ・準支部山行の細則
- ・支部会員へのアンケートの実施について
山行の志向等を探るため実施する。
- ・神奈川の山岳調査プロジェクト（仮称）
計画について検討

2月役員会

日時：2月16日（木）19：00

場所：神奈川工科大学横浜事務所

- ・会員の異動
- ・1/19に開催した第4回山行委員会
- ・YOUTH委員会の報告
- ・平成29年度の事業計画書と予算書を本部に提出
- ・大山忘年山行報告
- ・西丹沢世附権現山山行報告
- ・1/26実施の新年会報告。参加者は15名。
- ・山行計画審議。
 - ①赤倉スキー山行
 - ②山行委員会・YOUTH委員会の山行予定についての説明
 - ③南関東3支部合同山行
- ・神奈川山岳誌（仮称）プロジェクトの進捗状況
- ・5/20開催の支部総会と記念講演会の詳細について提案最終案を決定。
- ・本部主催の登山教室指導者講習会へ申請の承認。
- ・支部の共同備品の購入

①トランシーバー

②GPS

③ロープ、ツェルト等

・鷹取山の利用ルール承認

3月山行委員会

日時：3月16日（木）19：00

場所：神奈川県工科大学横浜事務所

- ・山行報告
世附権現山山行、赤倉スキー
- ・支部会員へのアンケート回収状況
- ・かながわ山岳誌プロジェクトについて
- ・YOUTH 委員会の扱い
神奈川県支部の Youth 委員会としての活動は行わず、山行委員会の中での活動とする。当面は鷹取山でのクライミング訓練等を実施する。
- ・山行計画の検討
雲の平テント山行
7月31～8月3日雲の平テント山行
7月8～9日 上記の練習山行として平標山を実施する。

今後の予定

第5回支部山行：湘南平（レベル1：初級）

日時：4月15日（土）

場所：平塚/湘南平（高麗山、浅間山）

コース：大磯駅－高来神社－高麗山－浅間山－湘南平－大磯駅

概略：「かながわ山岳誌」プロジェクトの第1回山行を平塚の湘南平で実施します。JAC 創設に寄与した岡野金次郎のレリーフを拝し、プロジェクトのスタートを祝うイベントを実施します。標高差 200m程ですが、足に自信のない方は平塚駅からタクシーでの参加（12時湘南平着で）も可能です。歩程約3時間。

注記：湘南平でイベント開催。

集合：10:30 大磯駅（タクシーの場合は平塚駅 11:30 頃）

担当：長島泰博

y-naga.0128.k59@kxe.biglobe.ne.jp

TEL090-5554-8345

平成 29 年度支部総会

日時：5月20日（土）13:30～19:30

（13:15 受付開始）

場所：神奈川県横浜キャンパス 3 号館
305 号室

日程：1. 記念講演会 13:30～15:15

(1) 神奈川県山岳部 活動報告

(2) 鈴木正崇氏講演会

「相模の山岳信仰」

2. 神奈川県支部総会 15:30～17:00

3. 懇親会 17:30～19:30

※4 月案内状発送予定。委任状を必ず返送ください。

準支部山行

日時：7月8日（土）～9日（日）

場所：谷川連峰/平標山(1984m)・仙の倉山(2026m)

コース：海老名発＝平標登山口－平元新道入口－平標山乃家(テント泊)－平標山－仙の倉山－平標山－松手山－平標登山口＝海老名駅

概略：北アルプス・雲ノ平山行(別記)の準備合宿として実施します。雲ノ平山行参加希望者をご参加ください。マイカー利用かつテント生活のため 4 名程度を想定しています。歩程約 7.5 時間。

注記：共同装備・食料の担当有。10～15 kg 程度を背負い 6～8 時間行動。締切 6/9。

集合：小田急線海老名駅羽田空港行リムジンバス乗り場。(参加者には後日詳細連絡)

担当：大槻利行

[Eメール] t.otsuki@nifty.com

TEL090-1401-8382

準支部山行

日時：7月31日（月）～8月3日（木）

場所：北アルプス/雲の平・双六岳

コース：富山駅＝折立－太郎平小屋－薬師峠(テント泊)－太郎平小屋－薬師沢小屋－祖母岳ピストン－雲の平(テント泊)－祖父岳ピストン－鷲羽岳－三俣山荘－三俣蓮華岳ピストン－双六岳－双六小屋(テント泊)－鏡平－秩父沢－新穂高

温泉

概 略：北アルプスの奥座敷、雲の平とその周辺をテント利用で縦走します。テント、炊事用具と食料は、参加者で分担荷揚げします。下山後、山研宿泊オプションあり。

注 記：本山行参加者は「7/8-9 平標山・仙の倉山」への参加もお願いします。

50-60Lザック・20Kg 程度を背負い7～9時間行動。歩程約23時間。締切6/9。

集 合：JR 富山駅(参加者には後日詳細連絡)

担 当：大槻利行

[Eメール]t.otsuki@nifty.com

Tel.090-1401-8382

役員会

4月20日(木) 19時～

山行委員会

5月18日(木) 19時～

場所はすべて神奈川県横浜事務所
(横浜駅東口ウィスパートビル10F)

※カモシカスポーツのビルです。

支部会員動静

退会

11274 渡辺美夫 2月24日ご逝去

13565 小倉雅之

無線機購入しました

山行中の連絡用に無線機を4台購入しました。活用してください。

アイコム IC4110 メタリックレッド



2月18日湘南平でテストしましたが、尾根を回り込むような場合は感度が落ち、障害物のないところで300m位が利用範囲でした。多人数のパーティーの場合の前後の連絡用等に活用できそうです。

問合せ kng@jac.or.jp (寺井)

あとがき

気温も少しずつ上がってきて、山歩きに適した気候になってきました。週末の天気を気にしながら、次は何処の山に行こうか考える今日この頃。そんななか先日、郷里の百名山・荒島岳に登ってきました。郷里を離れてから山歩きをするようになったので、今回が初めての荒島岳登山でしたが、普段麓から眺めていた山の頂より見る景色は、格別なものでした。さらに気を引き締め、今後の支部活動に精一杯努めさせていただきます。

いよいよ「かながわ山岳誌」プロジェクトがスタートします。神奈川県内のすべての山と峠を踏査する壮大な計画です。このプロジェクトの完遂には、会員の皆様の協力が必要不可欠ですので、奮ってご参加頂ければと思います。(友)

発 行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫

編集者：植木貞一郎、多田友行、長島泰博

平成29年4月1日

次回は7月1日発行予定